



このコーナーは、市内の協働の取り組みや話題・活動などを紹介します。

## 抹茶のお味はいかが？

3月3日(火) みのり保育園

保育園でひなまつり茶会が行われ、お茶の先生が入れる抹茶とお菓子をいただきました。年長児の茶会には保護者も招待され、一緒に茶会を楽しみ、卒園前のいい思い出となりました。



## 森から香りと甘みの贈り物

3月7日(土)8日(日) 大毎集落



さんぽくごっつお物語協議会主催の「雪山メープルシロップ物語」。雪山で、イタヤカエデの樹液を採取し、ふもとの集落でメープルシロップの製造体験を行いました。餅つきや笹だんごづくりなど地元の人との交流も行われ、新潟市から家族で参加した石山さんは「大毎集落を何度も訪れたことがあります、まだまだ知らない魅力がたくさんあり感激しました」と話していました。

# むらかみの話題

## 絵本らいぶでみんなで笑顔～絵本の力～

3月1日(日) 神林地区公民館



「ふくちゃん」こと福島はるおさんの絵本らいぶが行われました。エレクトーンの演奏に合わせた絵本の読み聞かせを楽しんだ親子約50人。11冊の絵本が紹介され、絵本の素晴らしさを学び、有意義な1日となりました。

## 地域に根差した病院をめざして

3月4日(水) 荒川地区公民館



県立坂町病院が、地域住民の健康増進を図ると共に病院の現状について理解を深めてもらおうと『健康ナイトスクールなんじだね』を開催。糖尿病や感染症などをテーマに同病院の医師による講演が行われ、約70人の参加者が熱心に耳を傾けました。

ウェブで検索してみてね。



## 広がるまちづくりの輪

3月8日(日) あらかわ地区まちづくり協議会



自主的なまちづくり活動を応援する「あらかわみらいファンド」の活動報告会が開催されました。お揃いのユニフォームで駆けつけた応援団を背に発表に臨んだ「カーリンコンあらかわ」の加藤代表は、「メンバーが指導者の資格を取得し、地域の茶の間などでカーリンコンの普及に努めた。このスポーツは一度やれば必ずハマります！」と軽スポーツの魅力と合わせ、充実した取り組みを報告しました。

## 世代を越えた取り組みからの気づき

3月15日(日) さんぽく会館



山北地区まちづくり協議会が主催し、小学生から大人まで約140人が参加した「地域づくり楽習会inさんぽく」。“互いの取り組みからの気づき”と題して、山北地区内で取り組みを行った多様な世代からの事例発表や、それを踏まえた意見交換が行われました。

参加した山北地区公民館長の板垣昭一さんは「子どもたちはこの地域を元気にしようと、必死に考え、取り組んでいる。もっとたくさんの大人に知って欲しい」と熱く語っていました。

## おいしくたのしくまちづくりを語らう

3月7日(土) 朝日みどりの里・体験交流センター



都岐沙羅パートナーズセンターの主催による「第5回まちカフェ」が開催され「若者とまちづくり」をテーマに、さまざまな業種の人たちが意見交換を行いました。参加者からは「若者に重要な役目を与えてみてはどうか」などの意見が出されていました。将来を担う若者の参加は、今後もまちづくりの重要なテーマとなりそうです。

## 作って食べて笑顔で交流

3月8日(日) 三面地域まちづくり協議会



一緒に料理を作り食べながら交流してもらおうと「料理交流会」が開催され、40代から60代の男女26人が参加。身近な食材を使って簡単にできる和風料理5品を作りました。少しの手間でいつもの食材が料亭の味に早変わり。昼食会では「俺も家でもっと料理しなきゃ」「だしがきいているから、薄味で健康にもいいね」など、会話がはずんでいました。